

社団法人 茨城原子力協議会

[法人の概要]

平成16年7月1日現在

代表者名	会長 黒木 剛司郎(非常勤)	所管部(局)課	生活環境部 原子力安全対策課	
所在地	那珂郡東海村村松225-2	電話番号	029-282-3111	
ホームページURL	http://www.ibagen.or.jp/	E-mailアドレス		
資本金(基本財産)	0千円	設立年月日	昭和54年6月	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1		千円	#DIV/0! %
	2		千円	#DIV/0! %
	3		千円	#DIV/0! %
	4		千円	#DIV/0! %
	5		千円	#DIV/0! %
	その他	団体	千円	#DIV/0! %
設 立 目 的	原子力の平和利用と安全に関する知識の普及と啓発を行い、もって原子力の平和利用の着実な進展に寄与し、地域の生活環境の保全と地域産業の健全な発展に資する。 県から原子力施設安全調査員事業を受託しているが、その事業のため県より職員が派遣されている。			

[事業の概要]

事業名	平成16年度事業費	内 容
事業1 原子力科学館運営	8,800千円	見学者への原子力に対する理解促進のため、原子力科学館を運営している。また、インターネットを利用した当協議会の種々の情報公開、原子力情報の提供を行っている。
事業2 自主事業	14,400千円	会員に対する研修や、地域との交流促進を目的として以下の事業を行っている。 賛助会員による科学・原子力施設等の視察 広報資料の配布 女性活動の後援 来館者に対する無料見学バスの運行 等
事業3 受託事業	158,839千円	原子力に関する正しい知識の普及・啓発活動として、原子力広報紙の発行、原子力施設安全調査員の配置、着ぐるみ劇公演、教員研修会等を行っている。

[組織]

7月1日現在の人数	平成14年			平成15年			平成16年			
	県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB		
役員	常勤理事	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	非常勤理事	21	0	0	23	0	0	24	0	0
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	3	0	0	3	0	0	3	0	0
	計	25	0	1	27	0	1	28	0	1
職員	管理職	6	1	0	6	1	0	5	1	0
	一般職	4	0	0	3	0	0	3	0	0
	臨時職員	2	0	0	3	0	0	5	0	0
	嘱託職員	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	計	13	1	0	13	1	0	13	1	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	2	5	2	4	13	41歳 月	3年 月			

[収支の状況]

社団法人 茨城原子力協議会

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
収 支 の 状 況	収入合計	316,303	287,057	262,855
	事業収入	315,134	285,933	261,509
	事業外収入	1,169	1,124	1,346
	支出合計	308,092	285,374	252,972
	事業支出	308,092	285,374	252,972
	事業外支出	0	0	0
	うち管理費	71,832	75,473	67,944
	うち人件費	58,132	57,750	56,364
	当期収支差額	8,211	1,683	9,883
	正味財産増加額	6,481	3,098	0
	正味財産減少額	12,396	29,894	6,076
	当期正味財産増減額	2,296	-25,113	3,807
	前期繰越正味財産	782,172	784,468	759,355
期末正味財産	784,468	759,355	763,162	
財 産 の 状 況	資産	822,988	801,187	811,066
	流動資産	57,060	58,055	68,010
	固定資産	765,928	743,132	743,056
	負債	38,520	41,832	47,904
	流動負債	12,207	11,519	11,591
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	26,313	30,313	36,313
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	784,468	759,355	763,162	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成13年度	平成14年度	平成15年度
財 的 関 与 状 況	補助金	18,864	17,377	17,305
	委託金	93,625	92,802	94,181
	貸付金			
	計	112,489	110,179	111,486
	財政的関与の割合(%)	36%	38%	42%
	損失補償・債務保証			

[平成15年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	県から同協議会への委託事業進捗の円滑化を図るため、同協議会に対し助成を行っている。その結果、県からの委託事業が円滑に推進された。
委託金	県民等へ原子力についての知識を広報・普及することを目的に、広報紙の発行・新聞広報・原子力施設見学会・教員セミナーを実施した。これらの広報事業は地域住民が情報を得るうえで身近な媒体として定着したものとなっている。
貸付金	

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	7	8	87.5%
目的適合性	5	14	14	100.0%
組織運営の適正性	4	6	8	75.0%
健全性	11	18	40	45.0%
効率性	8	6	28	21.4%
合計	32	51	98	52.0%

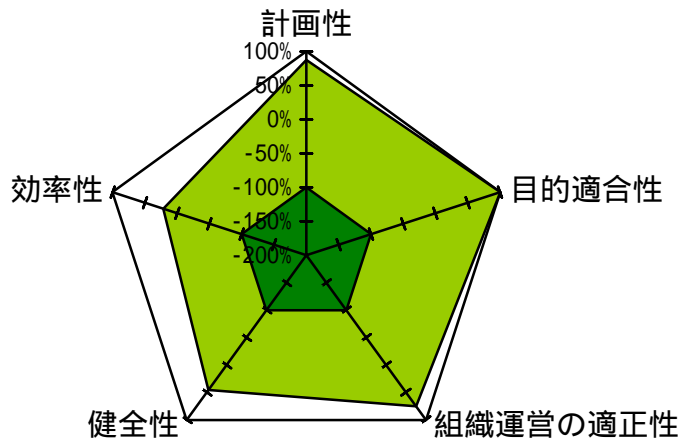
公益法人会計用

社団法人 茨城原子力協議会

警戒指標

--

経営評価レーダーチャート



(評価の視点)

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>日本原子力研究所及び核燃料サイクル開発機構統合後の本社所在地が東海村に決定し、本県と原子力との関係はより一層強まり、協議会の原子力の普及・啓発事業活動の重要性はより高いものになると思われる。 しかしながら、統合や退会等による会費収入の減少や将来の科学館改築等による財政への影響が予想されることから、国庫補助金の活用や自主財源の確保により、引き続き設立目的に沿った効果的な事業が実施できるよう努める必要がある。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>同協議会は、国や県から原子力に関する広報事業等を受託するなど、県の施策推進の一翼を担う公益法人であることから、県としても関係者に対し、同協議会の果たす役割の重要性について理解を得られるよう努めるとともに、科学館改築等に係る国庫補助金等の活用については、積極的に国との調整に努めるものとする。</p>

< 社団法人 茨城原子力協議会 から県民のみなさまへ >

私どもは原子力に関する知識の普及や広報などに積極的に取り組んでおり、JCO事故等の影響で大幅に減少した当科学館の入館者数も、ようやく以前の水準まで戻ってまいりました。今後は、原子力事業所OBを活用した、面白くてためになるイベントの実施、小中学校や各種団体との連携により、原子力との共存なしに成り立たない日本のエネルギー事情、医療や広範囲にわたる産業、学術研究に役立つ放射線、あるいは身の回りの自然放射線についての広報を充実してまいります。会費収入の減少等、協議会をめぐる環境は厳しいものがありますが、今後とも設立目的に沿った効果的な運営に努めますので、当協議会の活動について皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。
平成17年2月 会長 黒木剛司郎

[法人の自己評価(経営概況, 経営上の課題, 対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
平成16年3月に作成した中期計画に基づき, 年度当初に年度計画書を作成し着実に実施していく。	来館者との対話を大切にしており, 来館者も漸増している。教師の自主的なグループが当館での研修を希望するなど実績が評価されている。	関係事業所から派遣職員を受け入れる等の制約もあるが, 会員の理解もあり適性で効率的な構成となっている。情報公開については, ホームページ等で積極的に公開している。	概ね健全であると考ええる。平成17年度原研とサイクル機構との合併による会費の減収が懸念されるため, 来年度は事業の見直しも検討する必要がある。	正社員を最小限に抑えて対応する等, 効率性は保たれており概ね良好である。
今後の事業展開の方向	原子力を取り巻く状況の変化を見極め, 新たな視点で普及・啓発事業に取り組んでいく。理科の実験を通して子供達に科学の面白さを体験させられる科学館として地域に貢献する。			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
平成16年3月には将来の5カ年を見据えた中期計画も策定され, 概ね計画的に事業が執行されているものと思われる。	客観的かつ中立的な視点に立った原子力広報事業等が進められており, 法人設立の趣旨に沿った運営が行われているものと認められる。	事業の専門性に伴い管理職の比率が比較的高いものの, 人件費は派遣元の負担であることから経費上の負担は伴わず概ね適正な運営が保たれているものと認められる。	原研とサイクル機構の統合に伴う会費の減少が懸念されているが, 現時点では負債や運営赤字もなく概ね健全な運営が保たれているものと認められる。	会計処理等は県の規定に準じ処理されており, 概ね効率的に運営されているものと認められる。
第三次行財政改革大綱に係る取組状況	推進事項		取組み状況	
	該当なし		該当なし	
法人担当課の意見	同法人は, 原子力広報を行うために設立された県内唯一の公益法人として, 概ね良好な運営が保たれているものと認められる。今後は平成16年3月に策定した中期計画に基づき, 事業の計画的な執行を図るとともに, 平成17年度に予定されている原研とサイクル機構の統合による影響を踏まえながら, さらに長期的な展望に立ち, 施設の全面更新等を含む事業内容全般の検討を行う必要がある。			